



Press release

2024年2月14日

アクサダイレクト生命、2023年度第3四半期の業績を発表

アクサダイレクト生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼 CEO:田中勇二郎)は、日本会計基準に基づく2023年度第3四半期(2023年4月1日~2023年12月31日)の業績を発表しました。

収入指標

- 保険料等収入は、前年同期比0.4%減の9,550百万円となりました。

収益指標

- 基礎利益は、前年同期比596百万円増の△581百万円となりました。
- 当期純損失は、前年同期比4,900百万円増の△2,634百万円となりました。

財務基盤

- ソルベンシー・マージン比率は、前年度末比1,916.4ポイント減少し924.9%となりましたが、引き続き十分な支払余力を維持しています。

アクサダイレクト生命について

アクサダイレクト生命は、2008年4月より営業を開始したアクサのメンバーカンパニーです。アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社傘下における主にダイレクトビジネスを担う生命保険会社として、アクサ生命、アクサ損害保険と相互に連携し、シンプルで合理的かつ手頃な保険商品、デジタル技術を活用した便利で革新的なサービスをご提供しています。お客さまがいつでもどこでも安心してご契約いただけるよう、様々なタッチポイントで保険選びをサポートしています。

アクサグループについて

アクサは世界51の国と地域で145,000人の従業員を擁し、9,300万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2022年の売上は1,023億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは73億ユーロ、2022年12月31日時点における運用資産総額は9,324億ユーロにのぼります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、アクサの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は2022年1月~12月の業績です。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします

アクサダイレクト生命保険株式会社
経営企画部

TEL: 03-5210-1533

<https://www.axa-direct-life.co.jp/>

2023年度第3四半期報告

アクサダイレクト生命保険株式会社（代表取締役社長兼CEO 田中 勇二郎）の
2023年度第3四半期（4月1日～12月31日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	……	1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……	2頁
3. 四半期貸借対照表	……	3頁
4. 四半期損益計算書	……	4頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……	6頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……	7頁
7. 特別勘定の状況	……	8頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……	8頁
		以上

お問い合わせは、次にお願いたします。

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2022年度末		2023年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数		金 額	
			前年度 末比	前年度 末比		
個 人 保 険	225	8,317	229	101.6	8,267	99.4
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-

新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	2022年度 第3四半期累計期間				2023年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加	前年 同期比		前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個 人 保 険	29	630	630	-	14	51.1	407	64.6	407	-
個 人 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
団 体 年 金 保 険	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2) 年換算保険料

保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	2022年度末	2023年度 第3四半期 会計期間末	前年度 末比
		個 人 保 険	9,322
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	9,322	9,474	101.6
うち医療保障・ 生前給付保障等	6,039	6,221	103.0

新契約

(単位：百万円、%)

区 分	2022年度 第3四半期 累計期間	2023年度 第3四半期 累計期間	前年 同期比
個 人 保 険	1,220	640	52.5
個 人 年 金 保 険	-	-	-
合 計	1,220	640	52.5
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,005	519	51.6

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

(1) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	2022年度末		2023年度 第3四半期会計期間末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	5,132	29.8	3,479	21.7
買 現 先 勘 定	-	-	-	-
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	-	-	-	-
買 入 金 銭 債 権	-	-	-	-
商 品 有 価 証 券	-	-	-	-
金 銭 の 信 託	-	-	-	-
有 価 証 券	-	-	-	-
貸 付 金	-	-	-	-
不 動 産	53	0.3	54	0.3
繰 延 税 金 資 産	235	1.4	265	1.7
そ の 他	11,794	68.5	12,269	76.4
合 計	17,216	100.0	16,069	100.0

(2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外）

該当する事項はありません。

(3) 金銭の信託の時価情報

該当する事項はありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2022年度末 要約貸借対照表 (2023年3月31日現在)	2023年度 第3四半期会計期間末 (2023年12月31日現在)
		金 額	金 額
(資 産 の 部)			
現 金 及 び 預 貯 金		5,132	3,479
有 形 固 定 資 産		153	129
無 形 固 定 資 産		1,526	1,579
再 保 険 貸		9,719	8,873
そ の 他 資 産		449	1,741
繰 延 税 金 資 産		235	265
資 産 の 部 合 計		17,216	16,069
(負 債 の 部)			
保 険 契 約 準 備 金		11,483	14,372
支 払 備 金		360	384
責 任 準 備 金		11,123	13,988
代 理 店 借		90	91
再 保 険 借		800	137
そ の 他 負 債		1,429	687
未 払 法 人 税 等		765	2
資 産 除 去 債 務		36	41
そ の 他 の 負 債		627	644
役 員 退 職 慰 労 引 当 金		8	11
価 格 変 動 準 備 金		0	0
負 債 の 部 合 計		13,813	15,301
(純 資 産 の 部)			
資 本 金		11,500	11,500
資 本 剰 余 金		10,340	10,340
資 本 準 備 金		10,340	10,340
利 益 剰 余 金		△ 18,438	△ 21,072
そ の 他 利 益 剰 余 金		△ 18,438	△ 21,072
繰 越 利 益 剰 余 金		△ 18,438	△ 21,072
株 主 資 本 合 計		3,402	768
純 資 産 の 部 合 計		3,402	768
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		17,216	16,069

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2022年度 第3四半期累計期間 〔2022年 4月 1日から 2022年12月31日まで〕	2023年度 第3四半期累計期間 〔2023年 4月 1日から 2023年12月31日まで〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		12,612	9,557
保 険 料 等 収 入		9,588	9,550
（うち保険料）	(6,832)	(7,259)
資 産 運 用 収 益		0	0
（うち利息及び配当金等収入）	(0)	(0)
そ の 他 経 常 収 益		3,024	6
経 常 費 用		9,503	13,084
保 険 金 等 支 払 金		5,043	6,895
（うち保険金）	(595)	(788)
（うち年金）	(36)	(54)
（うち給付金）	(2,004)	(1,368)
（うち解約返戻金）	(114)	(123)
（うちその他返戻金）	(0)	(0)
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		154	2,889
支 払 備 金 繰 入 額		154	23
責 任 準 備 金 繰 入 額		-	2,865
資 産 運 用 費 用		3	0
（うち支払利息）	(3)	(0)
事 業 費		4,029	2,939
そ の 他 経 常 費 用		272	359
経常利益又は経常損失(△)		3,109	△ 3,526
特 別 損 失		59	0
固 定 資 産 等 処 分 損		59	0
税 引 前 四 半 期 純 利 益 又は税引前四半期純損失(△)		3,050	△ 3,526
法 人 税 及 び 住 民 税		848	△ 862
法 人 税 等 調 整 額		△ 64	△ 29
法 人 税 等 合 計		783	△ 892
四 半 期 純 利 益 又は四半期純損失(△)		2,266	△ 2,634

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2023年度第3四半期会計期間末

1. 株主資本の金額の著しい変動

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計
当期首残高	11,500	10,340	△18,438	3,402
当第3四半期会計期間末までの変動額				
新株の発行	—	—	—	—
四半期純損失(△)			△2,634	△2,634
当第3四半期会計期間末までの変動額合計	—	—	△2,634	△2,634
当第3四半期会計期間末残高	11,500	10,340	△21,072	768

2. 追加情報

当社の親会社であるアクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社（以下、「アクサ・ホールディングス・ジャパン」）は、2023年7月27日開催のエグゼクティブ・コミッティにおいて、当社とアクサ・ホールディングス・ジャパンの100%子会社であるアクサ生命保険株式会社（以下、「アクサ生命」）の合併を監督当局の認可を前提として、2024年4月1日付で実施することを決議し、両社の取締役会及び株主総会の決議を経て、2023年12月12日に合併契約書の締結が行われました。

(1) 合併の目的

- ・ガバナンスのシンプル化、収益性の向上及び財務基盤の更なる強化
- ・両社が有するノウハウの活用を通じて、より良い商品やサービス、アドバイスの提供によるお客さまの体験価値の向上

(2) 合併方式

アクサ生命を存続会社とする吸収合併方式

なお、合併後の企業名称は、アクサ生命保険株式会社から変更ありません。

(3) 合併に係る割当内容

アクサ生命は合併に際して、当社の株主であるアクサ・ホールディングス・ジャパンに対し、アクサ生命の株式26,801株を交付します。

当該株式数の算出は、当社の2023年度第2四半期末時点の純資産額に対して、アクサ生命の2023年度第2四半期末時点の1株当たり純資産額を除いて算出し、合併日までに生じると想定される重要な純資産の変動項目の調整を加えることによって算定（小数点以下は四捨五入し、整数とする。）されたものです。当社とアクサ生命は、いずれもアクサ・ホールディングス・ジャパンの完全子会社の関係にあることから、合併後もグループ全体の株式価値に変化はないものと考えているため、両社の直近の純資産額を基礎とする当該算出方法は相当であると判断しております。

	アクサ生命 (吸収合併存続会社)	当社 (吸収合併消滅会社)
本合併に係る割当比率	1	0.0034

(4) 引継資産・負債の状況

アクサ生命は、合併の効力発生日において、当社の資産、負債及びその他の一切の権利義務を承継します。

(5) 吸収合併存続会社となる会社の概要

資本金 85,000 百万円

事業内容 顧客との対面販売を主とする生命保険事業

合併に際して、両社のご契約者のご契約条件、付帯サービス内容等に変更はなく、各種お手続きやお問い合わせなどのサービスは継続してご利用いただけます。

(6) 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第 21 号 2019 年 1 月 16 日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第 10 号 2019 年 1 月 16 日)に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施する予定です。

注記事項

(四半期損益計算書関係)

2023年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は578円85銭であります。

5. 経常利益等の明細 (基礎利益)

(単位：百万円)

	2022年度 第3四半期累計期間	2023年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	△ 1,178	△ 581
キャピタル収益	-	-
キャピタル費用	-	-
キャピタル損益 B	-	-
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△ 1,178	△ 581
臨時収益	4,482	-
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	83	-
個別貸倒引当金戻入額	-	-
その他臨時収益	4,399	-
臨時費用	195	2,945
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	-	108
個別貸倒引当金繰入額	-	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	195	2,836
臨時損益 C	4,287	△ 2,945
経常利益 A + B + C	3,109	△ 3,526

注記事項

(経常利益等の明細 (基礎利益) 関係)

2023年度第3四半期累計期間	
(参考) その他臨時費用等の内訳	
(単位: 百万円)	
2023年度第3四半期累計期間	
その他臨時費用	2,836
共同保険式再保険契約の部分解約に係る損益	2,836

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位: 百万円)

項目	2022年度末	2023年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	6,486	2,568
資本金等	3,402	768
価格変動準備金	0	0
危険準備金	406	515
一般貸倒引当金	-	-
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)) × 90% (マイナスの場合100%)	-	-
土地の含み損益 × 85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	2,676	3,172
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	-	△ 1,887
控除項目	-	-
その他	-	-
リスクの合計額	456	555
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額	254	303
第三分野保険の保険リスク相当額	148	208
予定利率リスク相当額	0	0
最低保証リスク相当額	-	-
資産運用リスク相当額	173	155
経営管理リスク相当額	17	20
ソルベンシー・マージン比率	2,841.3	924.9
$\frac{(A)}{(1/2) \times (B)}$	%	%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条及び1996年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

7. 特別勘定の状況

該当する事項はありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当する事項はありません。